

1 大都市大阪の地域力の復興と公共の再編

事項	23年度の取組内容
事項1-⑦ 市民活動を支える資金確保に向けた支援	
<p>【趣旨・目的】 市民活動団体が活動に必要な資金を確保しやすくすることで、市民活動の活性化をめざす。</p>	<p>ア 具体的な手法などを盛り込んだ事例集の作成など市民協働型事業の本格実施と冠基金・冠助成事業等活動資金の獲得に向けた方策の検討</p>
<p>【取組の考え方(戦略)】 ア 市民活動推進基金を市民協働型事業の費用に活用するとともに、冠基金・冠助成事業などの寄付しやすい仕組みを検討する。 イ 市民活動団体の資金調達のための支援を行う。 ウ 社会貢献活動の情報発信など企業、大学、専修学校等と市民活動団体とのマッチングを促進する。</p>	<p>イ 市民活動団体に対する情報提供の充実や資金調達に関する講座の実施 ウ 人材、物品などの資源を企業とNPOの間で取り結ぶマッチングシステムの検証と参加主体の拡大</p>
<p>【成果目標】 ア 平成23年度に全区役所において基金を利用した市民協働型事業に着手する。 イ 平成23年度に120件以上の相談への対応を行う。 ウ 平成27年度までのマッチング成立件数を300件以上とする。</p>	<p>【業績目標】 ア 事例集の作成と冠基金・冠助成事業等の検討をすることによる資金獲得方法の拡充 イ 資金調達に関する講座の開催 2回 ウ マッチング成立件数 200件(21年1月～累計)</p>

24年3月末までの主な取組	累積目標の達成状況	戦略の進捗状況の評価	次年度以降の課題	課題への対応に向けた次年度以降の取組の方向性と取組内容
<p>ア ・区役所副区長会等で基金活用事業の計画的執行を勧奨。 ・基金活用事業の実施 16区(平成22・23年度計)。 ・職員向けに協働の事例集を作成し庁内ポータルに掲載。 ・基金の啓発と寄附金の受入れ。 ・基金の財源の一つであるクリック募金システムの協賛企業の増加 1社(23年7月)。</p> <p>イ ・CB/SB等促進事業を実施している。内容は起業予定者を対象とした相談事業:54件(面談のみ)、行政や中間支援組織等を対象とした講師派遣などの「啓発事業:延べ275名」、地域におけるアドバイザーを育成する「アドバイザー連続講座(連続10回):65名」、NPO、ボランティアグループのための「レベルアップ講座」を実施している。</p> <p>ウ ・登録団体数723団体(24年3月末累計)。 (内訳)企業:64件,NPO:657件,大学:1件,専門学校:1件 ・マッチング成立件数203件(24年3月末累計)。 (内訳)企業:108件,NPO:94件,大学:1件)</p>	<p>①</p>	<p>ア ・平成24年度予算要求で基金活用事業の全区での実施が計画され、市民協働型事業の本格実施の目的がたつた。 ・資金獲得方法の拡充に取り組んだ結果、基金の財源の一つであるクリック募金システムの協賛企業が増加するなど、市民活動団体への支援につながった。</p> <p>イ 資金調達に関する講座については、アドバイザー連続講座等、幅広い機会において実施し、参加者からも理解が深まったと概ね好評だった。</p> <p>ウ 登録数、マッチング成立件数は、順調に推移している。新たにNPOと企業とのマッチング交流会に取組むなどマッチングが拡大した。</p>	<p>ア ・当基金の周知・啓発。 ・基金の財源の一つであるクリック募金システムの協賛企業数のさらなる増加。</p> <p>イ 資金調達に関する情報提供及び相談体制の構築。</p> <p>ウ ・企業及び学校関係の登録団体件数の拡大。 ・マッチングシステムの自主的・自立的な運営。</p>	<p>ア 様々な機会において当基金の周知・啓発を行う。</p> <p>イ 資金確保の一つの方策として寄附獲得に向けてNPO法人向けの講座を実施する。</p> <p>ウ 企業や学校関係者をはじめ、地域活動団体等へのマッチングシステムの周知を積極的に行い、登録数及びマッチング成立件数の拡大を図る。</p>